

第74回(令和7年度)横浜文化賞 受賞者決定!

横浜市の最高顕彰である「横浜文化賞」の今年度の受賞者が決定しました。

受賞者は、令和7年7月30日に開催された横浜文化賞選考委員会（委員長：近藤 誠一 横浜市芸術文化振興財団理事長）において選考されました。

1 受賞者（受賞者プロフィールは、別紙をご参照ください）

(1) 横浜文化賞

芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興等の文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々

(50音順・敬称略・年齢は9月10日現在)

分野	氏名	年齢	職業等
産業	坂田 宏	73歳	株式会社サカタのタネ 代表取締役会長
芸術	千住 真理子	63歳	ヴァイオリニスト
スポーツ振興	南場 智子	63歳	株式会社ディー・エヌ・エー 代表取締役会長 株式会社横浜DeNAベイスターズ 取締役オーナー
学術	宮坂 力	72歳	桐蔭横浜大学医用工学部 特任教授

(2) 横浜文化芸術奨励賞

文化・芸術分野において、現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が期待される方々

(50音順・敬称略・年齢は9月10日現在)

分野	氏名	年齢	職業等
文学	永井 紗耶子	48歳	小説家
芸術	東 亮汰	26歳	ヴァイオリニスト

2 贈呈式・記念コンサート（詳細は、別添チラシをご参照ください）

日程：令和7年11月20日（木）14:00 開式

会場：横浜みなとみらいホール 小ホール（西区みなとみらい2-3-6）

出演：橘和 美優（ヴァイオリニスト）、浅野 貴美子（ピアニスト）

※贈呈式・記念コンサートに、市民の皆様（抽選で250名）をご招待します！

お問合せ先

にぎわいスポーツ文化局文化振興課長 鬼木 和浩 Tel 045-671-3703



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



横浜文化賞

受賞者プロフィール
(50音順・敬称略)

○ 坂田 宏 株式会社サカタのタネ 代表取締役会長

株式会社サカタのタネ社長として、「種苗の力で笑顔と健康をお届けする」を使命に掲げ、170か国以上への種子供給を実現。特にブロッコリー種子では世界シェア約65%を占め、横浜が世界に誇るグローバルな種苗会社としての地位の確立に尽力した。また、「種苗を通じて社会に貢献する」という考え方のもと、農園芸や都市緑花に取り組んだほか、市内の公園や公共施設での花や緑の普及に多数の功績がある。

そのほか公益財団法人サカタ財団や横浜美術館協力会の活動を通じ、奨学金助成事業や文化・スポーツ支援など、幅広い分野で市の次世代育成や地域活性化に大きく貢献した。

GREEN×EXPO 2027では横浜から世界へ農園芸文化の発信を予定している。



○ 千住 真理子 ヴァイオリニスト

幼少期より横浜市で育ち、同地で演奏家としての礎を築く。全日本学生音楽コンクール全国1位、日本音楽コンクール最年少優勝、12歳でNHK交響楽団との共演など、早くから頭角を現し、国内外で高い評価を得る。文化大使として南米諸国での演奏を行うなど、国際的な文化交流にも貢献。

地域に根差した音楽活動にも熱心であり、横浜での演奏活動を継続し、ストラディヴァリウス「デュランティ」の初試奏を地元横浜のホールで行うなど、横浜の音楽文化の発展に大きく貢献した。

若手時代からボランティア活動を継続的に実施し、被災地や福祉施設で演奏するなど社会貢献活動にも熱心に取り組んでいる。



©Kiyotaka Saito (SCOPE)

○ 南場 智子 株式会社ディー・エヌ・エー 代表取締役会長 株式会社横浜DeNAベイスターズ 取締役オーナー

1999年に株式会社ディー・エヌ・エーを創業し、モバイルオークションやゲーム事業で急成長を遂げた実業家。2011年には横浜ベイスターズを引継ぎ、2015年に日本プロ野球史上初の女性オーナーに就任。球団と横浜スタジアムの一体経営を実現し、ファン目線の改革により観客動員数を大幅に増加させた。

2024年には球団を26年ぶりの日本一に導いた。優勝パレードには30万人のファンが参加し、横浜市民に大きな感動をもたらすとともに、都市のブランド力向上に貢献。経済界では、女性初の経団連副会長としてスタートアップ支援を推進。女性の社会進出や多様性経営の象徴として、日本経済界においても強い影響力を発揮している。



○ 宮坂 力 桐蔭横浜大学医用工学部 特任教授

桐蔭横浜大学特任教授として、次世代型太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」の研究開発を世界的にけん引し、科学技術の発展に大きく貢献した。

軽量・柔軟・高効率・低コストという特性を持つこの革新技術は、都市部での持続可能なエネルギー活用に新たな可能性を示し、市の創業支援策に応じて設立したベンチャー企業での取組や、横浜市庁舎などでの実証実験を通じて社会実装を加速。また、JAXAとの共同研究では宇宙環境対応型太陽電池の開発にも尽力。

桐蔭学園と横浜市との連携協定を通じた普及啓発や、科学番組出演による知識発信など、教育者としても次世代の科学者育成に多大な貢献をしている。



横浜文化芸術奨励賞

受賞者プロフィール
(50音順・敬称略)

○ 永井 紗耶子 小説家

横浜市出身の小説家。新聞記者を経て、ライターとして幅広く活躍したのち、2010年「絡繰り心中」で第11回小学館文庫小説賞を受賞し、デビュー。2023年「木挽町のあだ討ち」で直木賞・山本周五郎賞をダブル受賞し、注目を集めた。

原三溪の芸術家支援や関東大震災後の横浜復興をけん引する姿を描いた「横濱王」や、高島嘉右衛門が登場する「旅立ち寿ぎ申し候」、横浜生まれの岡倉天心らを描く「秘仏の扉」など、地域の歴史や文化を深く掘り下げた作品を発表。2025年には「木挽町のあだ討ち」が歌舞伎化されるなど、今後も横浜を代表する作家として、飛躍が期待されている。



©新潮社

○ 東 亮汰 ヴァイオリニスト

横浜市都筑区出身。国内において長い歴史と権威を誇る日本音楽コンクール第1位など、数々の受賞歴を重ねる。桐朋学園大学を首席で卒業後、同大学院修了。2024年ヨハネス・ブラームス国際コンクール第2位入賞。同年、神奈川フィル「第400回記念定期公演」にコンサートマスターとして出演し、高い評価を得た。2025年イザイ国際音楽コンクール第3位入賞。都筑区民文化センター柿落とし公演で演奏するなど地元横浜でも活躍。端正で瑞々しい音色と、作品の本質を深く掘り下げた構成力に定評があり、聴き手に新鮮な驚きをもたらす表現力は、若手ながら成熟した音楽性を感じさせ、今後のさらなる飛躍が期待されている。



©Shigeto Imura

【参考】横浜文化賞選考委員

(50 音順・敬称略)

	氏名	役職名等
	上野 孝	横浜商工会議所 会頭
	荻野 アンナ	作家、神奈川県立近代文学館 館長
	奥山 千鶴子	認定 NPO 法人びーのびーの 理事長
	大日方 邦子	一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 理事
◎	近藤 誠一	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 理事長
	渋谷 健	横浜市会議長
	高島 礼子	俳優
○	日比野 克彦	東京藝術大学 学長
	藤嶋 昭	東京理科大学 栄誉教授
	三好 勝則	芸術文化振興基金運営委員会 運営委員長

※◎…委員長、○…副委員長

第74回 横浜文化賞

贈呈式 記念コンサート

250名様
無料ご招待

2025.11.20 (木)

開場 13:30

開式 14:00 (16:00 終了予定)

[場所]

横浜みなとみらいホール

小ホール

[出 演]

橋和 美優 (ヴァイオリン)

[昨年度 横浜文化芸術奨励賞 受賞]

浅野 貴美子 (ピアノ)

[曲 目]

エルガー
愛の挨拶

マスネ
タイスの瞑想曲

クライスラー
美しきロスマリン

サン=サーンス
ワルツ・カプリス

※曲目は変更される場合があります。
あらかじめご了承ください。



横浜文化賞とは

横浜市では、昭和27(1952)年度から、芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興などの文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々に「横浜文化賞」を贈呈してきました。また、平成3(1991)年度の第40回からは、現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が期待される方々に「横浜文化芸術奨励賞(旧:横浜文化賞 文化・芸術奨励賞)」を贈呈しています。

プログラム

第1部 式典

第2部 記念コンサート(約30分)

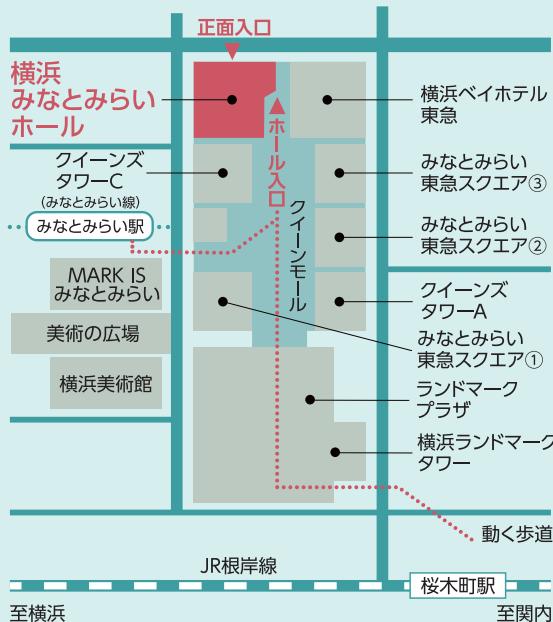
◆ アクセス

横浜みなとみらいホール

横浜市西区みなとみらい2-3-6 クイーンズスクエア横浜

●みなとみらい線 「みなとみらい駅」徒歩3分

●JR・市営地下鉄 「桜木町駅」徒歩12分



記念コンサート出演者

©Ayane Shindo

橘和 美優(ヴァイオリン)

2023年にパリで開催されたロン=ティボー国際音楽コンクールで第5位を受賞。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学を首席で卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、三菱地所賞を受賞。東京音楽大学大学院を修了。現在、東京音楽大学アーティストディプロマ在籍中。

第66回全日本学生音楽コンクール小学校の部東京大会第3位。第68回全日本学生音楽コンクール中学生の部東京大会奨励賞。第2回ツィゴイネルワイゼンヴァイオリンコンクール優勝。第2回若い音楽家の為のモーツアルト国際音楽コンクールにおいて第2位。第89回日本音楽コンクール入選。第19回東京音楽コンクール第2位、聴衆賞。第8回仙台国際音楽コンクール第5位。第9回宗次エンジェルヴァイオリンコンクール 第1位、併せて中部フィルハーモニー交響楽団賞、聴衆賞など、国内外で多くの受賞歴を持つ。

藝大フィルハーモニア管弦楽団、仙台フィルハーモニア管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団等と共に演。

これまでに、ヴァイオリンを宮下要、窪田茂夫、窪田寿子、ジェラール・プレ、大谷康子、海野義雄、小栗まち絵各氏に師事。

使用楽器は、宗次コレクションより貸与された A.Stradivari "ex.Rainville" 1697年製。

浅野 貴美子(ピアノ)

桐朋女子高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。

第49回全日本学生音楽コンクール東京大会小学校の部奨励賞。第53回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部第3位。横浜市招待国際ピアノ演奏会 第25回記念ウラディーミル・クライネフ教授によるマスタークラス受講。

これまでに西田理恵、福岡幸子、加藤伸佳、角野裕の各氏に師事。室内楽をはじめ、多岐にわたった演奏活動を行なっている。

申込方法

横浜市在住、在勤、在学の方対象で、お一人につき、2名様までのお申込みができます。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

1 電子申請・届出システムからの申込み

10月16日(木)までに右記の二次元コードからお申込みください。

2 はがきによる申込み

- 郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、希望人数(2名まで)を明記。
- 在勤・在学の方は、勤務先・学校名を記載。
- 手話通訳必要、車いすでの来場がある場合、明記。

締切日 10月16日(木)必着

申込み先 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
「横浜市にぎわいスポーツ文化局 横浜文化賞担当」
TEL.045-671-3714

● 抽選結果は、10月末頃に当落に關わらず、全員にはがきでご連絡します。

※いただいた個人情報は、本事業以外には使用いたしません。

※ご当選後に託児サービスのご利用を希望される場合は、横浜みなとみらいホールが提供する託児サービスがご利用になれます。詳しくは横浜みなとみらいホールのホームページをご確認ください。

郵便番号、住所
氏名(ふりがな)
電話番号
希望人数 ○人(2人まで)
勤務先又は学校名
(市内在住でない方)

以下は、該当者の方のみ
ご記入ください
手話通訳必要
車いすで来場します

(表面)

(裏面)